

第132回 維持管理研究会 議事録

- 開催日時：2022年7月21日(木) 16:00~17:30
- 場所：Zoomリモート開催
- 出席者(敬称略) 21名

石川、井上、上辻、大下、大島、久保、熊澤、坂本、澤田、柴田、守護、菅谷、高橋哲、千葉、橋川、林、日向、福島、柳本、山下、中谷

4. 研究テーマ

今月の維持管理研究会は、SGグループ様のBCPリモート演習(7/13実施)結果を、SGH様にご協力を頂き、訓練内容や実施状況について発表して頂き、意見交換を行った。

**SGHグループ
事業継続訓練**

訓練概要

1. 目的

- 有事における経営判断、BCM責任者/担当者への対応力向上
- BCP/BCMの効果検証及び課題抽出

2. 概要

開催日時: 2022年7月13日(水) 14:00~

開催方法: リモートによる実施
(従来通りの対応に近い環境下で実施するため、STLCでの全社参加はなし)

出席者: グループリスクマネジメント会議出席者、事業会社BCM責任者・担当者

過去の訓練テーマ・実施方法

テーマ	実施方法
2018年度 荒川氾濫	全社参加
2019・2020年度	中止
2021年度	サイバー攻撃による重要システム停止 各社別、フルリモート
2022年度	南海トラフ地震 Teamsを活用したリモート実施

訓練実施体制

各社対策本部メンバーは各社において訓練参加(各社内でTeams接続)
STLC会場には、一部対策本部メンバーと訓練評価者のみ(グループ対策本部参加者は原則Teams接続)

訓練実施の流れ

メニュー	概要	各社	SGH
シナリオ映像① (約2分)	20XX年12月某日午後5時南海トラフにおけるM.9の地震発生を想定した状況付		シナリオ映像訓練
共通確認事項 (15分)	実施要領に付随するグループ共通確認事項を検討・対策本部立ち上げ・その他	共通確認事項の発生を想定し、グループ/各社対策本部(各社設置)「1」(各社)にて発生を想定し、各社設置の対策本部が対応していることを確認・その他グループ共通確認事項(Panelsを利用)	
シナリオ映像② (約2分)	被災直後の一般被害状況及びグループの被害状況付		シナリオ映像訓練
確認事項 (30分)	被害状況報告、事業継続に関する確認事項(緊急連絡システムを利用)	被害状況報告、事業継続確認事項	被害状況報告、確認対応、各社設置確認事項
エンディング映像 (約1分30秒)	南海トラフ地震の被害想定及び過去発生した地震の説明		エンディング映像訓練
質疑応答上映 (約10分)	共通確認事項、グループの被災確認事項		各社設置、事業継続確認事項、確認事項
終了		終了	エンディング映像訓練一斉終了

シナリオ映像①

20XX年12月某日午後5時
南海トラフにおけるM.9の地震発生を想定した状況付

【前提事項】

■ 各社対策本部・東京事務所の状況

インフラ	各社対策本部	東京事務所	出社状況
電力	○	○	各社対策本部: 出社率50% (31名)
水道	○	○	東京事務所: 出社率37% (47名)
ガス	○	○	安否確認システム 発生後自動発報済み
固定電話	○	×	
携帯電話	×	×	
インターネット	△ (一部断)	○	→ 高橋は電力、インターネット使用可能
PC接続機	○	○	

■ 対策本部の設置場所
グループ対策本部は、東京事務所に設置
以下はBCPより活用

設置場所	対応可否	備考
対策本部	○	※ 対策本部メンバーは各社設置
東京事務所	○	※ 対策本部メンバーは各社設置
各社対策本部	○	※ 対策本部メンバーは各社設置

シナリオ映像②

被災直後の一般被害状況
及びグループの被害状況付

■ グループ対策本部メンバー参加場所/各役割

対策本部メンバー	参加場所	役職名	担当(役割)	主な役割
代表取締役	各社対策本部	代表取締役	代表取締役	グループ対策本部の統括、意思決定
執行役員A	各社対策本部	執行役員A	執行役員A	グループ対策本部の統括、意思決定
執行役員B	各社対策本部	執行役員B	執行役員B	グループ対策本部の統括、意思決定
部長A	各社対策本部	部長A	部長A	グループ対策本部の統括、意思決定
部長B	各社対策本部	部長B	部長B	グループ対策本部の統括、意思決定
部長C	各社対策本部	部長C	部長C	グループ対策本部の統括、意思決定
部長D	各社対策本部	部長D	部長D	グループ対策本部の統括、意思決定

※テレワーク、外出先のメンバーはリモート参加、後歩調内前は参加

■ 報告体制

■ グループ対策本部 役割

- グループとしての意思決定・方針の決定
- グループとしての情報収集
- 各事業会社(各社対策本部)への指示、情報収集及び情報提供

■ 各事業会社 統括対策本部 役割

- 各事業会社における方針・方針の決定
- 各事業会社としての情報収集
- 各事業会社からの情報収集及び情報提供

■ 各事業会社 継続対策本部 役割

- 業務継続に関する情報収集
- 業務継続に関する情報提供
- 業務継続に関する情報提供

※報告手段: 緊急連絡システム、災害情報

※ 報告手段: 緊急連絡システム、災害情報

グループ共通課題

緊急情報システム事業登録

発災初動に関する課題(事業会社のみ)

シナリオ映像②

被災直後の一般被害状況
及びグループの被害状況付

地震発生から2日経過後の状況

【特に被害の大きいM9】

■ ライフライン

- 電力は、5割が停電のまま。(目録停電を含む復旧も約6割)
- 固定電話は、5割が不通のまま。
- 上水道は、8割が断水。下水道は、4割が利用不能。
- 都市ガスは、8割が供給停止。

■ 交通機関

- 高速道路は復旧が完了しているが、交通規制により緊急輸送車両の通行優先。
- 一部幹線は、各社が不通。
- 一部支線は復旧中。

■ 生活への影響

- 食料・物資の不足や断水等により避難者数が増加。
- 燃料供給が不足し、ガソリン車の入手が困難。

5. 意見交換（感想など）

- ① 12社もある個社別にシナリオを作成されたとのことですが、詳しい業務内容やプロセスが分からなかでかなり苦労されたと思います。

特に、個社や部門の担当者を巻き込んだ想定シナリオを作成することが重要であると感じました。

- ② 各個社をリモートで接続し、統率しながら訓練を勧めるのは、かなり大変であったと感じました。
またホールディング側で12社の情報収集・整理されていたが、かなり苦労されたのではと推察します。
(情報の集約・整理の手段のシステム化を検討されると、更に良くなると思いました。)
- ③ 各個社の担当者も積極的に訓練されていたようで、グループ全体として大変良い訓練であると感じました。
- ④ 今回は、公共インフラ（電気・通信）が正常である前提で訓練されていたので、公共インフラが途絶したケースも、今後実施されると更に良いと思います。

<次回予定>

・2022年 8月18日（木）16:00～17:30

以上